

## 後期終業式 校長式辞要旨 2022.03.24

年度末の最後の集会で、やっと全校生徒がこの体育館に集まって開催できました。ここにいる2年生も、1年生も、砂川高校に入学して初めての経験ですね。校長の私にとっても初めてであり、とても感動的な光景です。大切な仲間たちと空間を共有し、お互いの顔が見えるのはとても嬉しいことです。

さて、来月からいよいよ18歳での成年年齢が始まります。高校3年生の誕生日とともに、未成年という保護対象から外れることとなります。

2年生の皆さんで4月生まれの人は6人もいます。5月は2人、6月は5人…。授業でも家庭科や公民科、商業・情報科でいろいろと学んできたでしょう。心の準備はできていますか。不安な思いもあるかもしれませんが、実は、大人として認められるというのはとても嬉しいことなのです。

例えをひとつ紹介しましょう。時に人間は、力の強い者に守ってもらうことを幸せと感ずることがあります。この世に誕生したばかりの赤ん坊は、母親の愛情に守られていることで安らぎを感じる。幼児期においても、「雨が降るから傘を持って行きなさい」「外は寒いからコートを用意しなさい」という親の判断に守られることを普通と感ずてきた。しかし、ある時期から「大丈夫」「平気さ」と、親の保護よりも自分の意志を通そうとする年代に達します。そして、何度かの失敗や反省を繰り返しながら、自分で判断できる力を備え、私たちは成長していく。

責任をもった人間としてみられるのは、誇らしく愉快でもあります。18歳の誕生日をぜひ楽しく迎えてください。

そんな皆さんに私たちから発したメッセージが、「砂川高校18歳プロジェクト」です。この1年間、とてもよく考え、判断し、行動してくれました。自分のことを律する、つまりコントロールできる大人になる。それを目指すのなら、皆さんを縛ろうとするものは、どんどん要らなくなります。

私たちの思いをわかってくれてありがとう。砂川高校がいっぱいいっぱい楽しい学校へと変わるきっかけになりました。4月からも大いに期待しています。